

ふるさと雇用再生特別基金事業事例集

平成21年8月

厚生労働省職業安定局
地域雇用対策室

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【観光分野】

アテンダント乗務は社史79年間で初めてです。
鈴虫列車、ストーブ列車等季節ごとの列車が好評なので、そういった素地を活かし、更にアテンダントによるおもてなしを加え職員一同皆さんにお会いできることを楽しみにしております。
今回の取組が乗客増加につながれば新たな事業が生み出され、基金事業終了後も雇用を継続できると期待しております。



津軽鉄道株式会社
社長 澤田長二郎さん

事業概要

津軽鉄道沿線を含む奥津軽地域の広域的な観光PRを行うトレインアテンダント(客室乗務員)を雇用し、車内で観光客への名所案内を行う(6月14日から乗務を開始)

委託先

津軽鉄道株式会社
(本社:青森県五所川原市)
従業員数35人

新たな
雇用創出数

7人

事業費

約1,648万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

青森県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

青森県 0.27倍(季節調整値)
五所川原 0.11倍(原数値)
管内

業務内容

列車内での観光客への名所案内のほか、高齢者の列車乗り降りの手伝い、地域イベントでの司会

津軽鉄道のホームページ作成、沿線各駅に観光のぼりの設置、首都圏旅行エージェントへのセールス活動

1日5名体制(2交代制)。1人1日あたり3往復の列車に乗務。20本(10往復)の各列車に1～2名が乗務。



《「クイズで津軽弁講座。ケヤグ=友達??」》

客室乗務員のみなさん

観光PRの説明に熱が入り、通路にしゃがみ込んで話しかけたり、時には一緒に記念撮影も。



アテンダント
竹内琴恵さん

観光客の方はもちろん、地元の方にもこの津鉄で奥津軽の魅力を感じてほしい。



アテンダント
葛西麗理さん

観光客が増え、周辺地域の発展につながればそれが私どもの願いです。そして若い人も魅力を感じる鉄道にしていきたい。



《100%の笑顔でお出迎え》

お客さまからの声

乗客からは、好評の声が多数寄せられ、地域における雇用創出の事業として順調な走り出し。

地元の人ならではの丁寧な観光案内はありがたい。手作りの飾りつけに暖かみを感じた。

津軽弁が新鮮で、雰囲気がとてもよかった。



《七夕列車「おねがいごとをどうぞ」》

今後の姿と課題

太宰治生誕100年や東北新幹線全線開業を追い風に、地域全体の観光客の増加を目指す。更にトレインアテンダント効果が出るようなアイデアや工夫が鍵に。



管理・企画グループリーダー
澁谷房子さん

列車に乗り込むアテンダントの笑顔からやりがいのある仕事についている喜びを感じます。そんな彼女たちとの感動の出会い、ブログでござんください。

<http://okutsugaru0615.blog54.fc2.com/>



《津鉄は今日も走り続けます》

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業

【産業振興分野】

旬のものや安全で安心なものを消費者にお届けしながら、生産者と消費者の橋渡しをするのが私たちの役目です。生産、加工、流通、販売まで幅広く関わることで、それぞれが活性化できる仕組みを作っていきます。



いわて新鮮組株式会社 営業企画部長 加藤久雄さん

事業概要

安全・安心で高品質な県産の農林水産物を活かして、単なる素材生産から、より付加価値の高い加工品の生産や、ネット販売による新たな流通販売など、農林水産物の6次産業化を支援することを通じて農林水産経営の高度化を図る。

委託先

いわて新鮮組株式会社(本社:岩手県盛岡市)をはじめとする19事業者

新たな雇用創出数

合計 50人

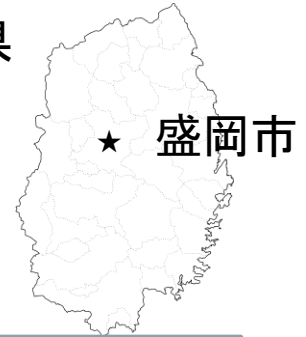
事業費

約11,000万円(平成21年度)
※19事業者全体

事業の開始

平成21年4月～

岩手県



★ 盛岡市

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

岩手県	0.34倍(季節調整値)
盛岡管内	0.39倍(原数値)

業務内容

【いわて新鮮組】

- ・広域的に県内の農林水産物や加工品を販売する「街なか産直」事業
- ・岩手のこだわり食材を中・外食企業などに提案する直接販売事業

事業の公募

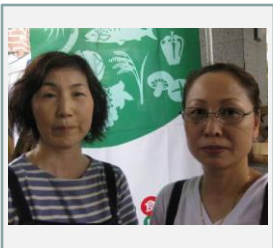
岩手県は、①付加価値の高い「新たな加工品の生産・販売」、②ネット販売やケータリングサービス等の「新たな流通販売」、③農産物・木材等の「新たな地産地消」といった生産・加工・販売・流通に関するビジネスモデルを示した上で事業企画を公募。雇用創出効果の観点から、19事業者を選定、事業内容に応じそれぞれ委託契約を結び事業を展開している。



《「新鮮な果物・野菜はいかがでしょう！」》

スタッフのみなさん

消費者、生産者、加工業者みんなが幸せになるビジネスを展開していきたい。



食材を通してみなさんの交流の場になれば嬉しい。

地産地消にこだわっています。

スタッフ 加藤千恵子さん、鈴木友子さん



《「県内各地から採れたてのものが届きます！」》

お客さまからの声

この店舗1か所で、県内各地の農産物や加工品を購入できるので、好評を得ています。

「食のアウトレット」のコーナーで規格外の商品を安く買えるのが魅力。

街の便利な場所にあるので気軽に立ち寄れる。商品が豊富。



《「豊富な品揃え。こだわり食材も並んでいます！」》

今後の姿と課題

今回の「街なか産直」事業のほか、委託した個々の事業を実施していく中で、県内各地域の活性化が図られるよう、地域と一体となった支援体制づくりが必要。



今回の事業で、新たな産業振興の希望が見えています。県としても全面バックアップをしていきます。なお、岩手の食材に関する情報はコチラをご覧ください。→「いわて食材倶楽部」
<http://www.iwate-syokuzaiclub.com/index.html>

岩手県流通課企画マーケティング担当 佐藤栄幸



《お客様が立ち寄りやすいよう屋外に設置した店舗》

伝統こけし工人後継者育成事業 【宮城県:蔵王町】

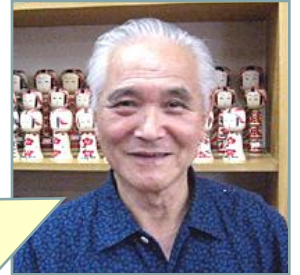
事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【産業振興分野】

遠刈田系のこけし工人は1950年代は100人ほどいましたが、今では28人にまで減っています。このうち遠刈田温泉地区には18人が活動していますが、平均年齢が71歳と高齢化が進んでおり、後継者育成が急務の課題となっています。

本事業が、伝統技術の継承と地域雇用の創出に繋がることと大いに期待しています。



遠刈田伝統こけし木地玩具業協同組合
理事長 佐藤哲郎さん

事業概要

現役ベテラン工人のこけしなどの製作補助作業を通して、技術を伝授し、遠刈田伝統こけし産業の継承を図る。

委託先

遠刈田伝統こけし木地玩具業協同組合
(みやぎ蔵王こけし館内)

新たな
雇用創出数

3人

事業費

940万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年6月～

宮城県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

宮城県 0.38倍(季節調整値)

白石管内 0.18倍(原数値)

業務内容

遠刈田伝統こけし及び木地玩具の製作補助

「みやぎ蔵王こけし館(蔵王町伝統産業会館)」の来館者に、こけし製作実演及び体験教室の指導など

組合員7人が交代で新規こけし工人の指導育成に当たる



《年間約3万人が訪れる「みやぎ蔵王こけし館」》

新規工人のみなさん

伝統こけしは、原木の段階から、顔・胴の描彩、仕上げまでの全工程を一人のこけし工人が行います。すべて自分の思うとおりに作ることが出来るのですが、それゆえに作り手の生活や気持ち体調などが作品に反映され作風も変化します。そこが面白くも難しいところです。

指導を受けた技術の一つ一つを、身に付けていきたいです。



新規こけし工人
日下秀行さん

道具も自ら作ります。大変やりがいを感じています。



新規こけし工人
達曾部早苗さん

厳しい職人の世界ですが、丁寧に指導いただいています。



新規こけし工人
熊谷祐太さん

指導者からの声

こけし工人の高齢化が進んでいることから、「伝統に培われた技術が後世に伝えられる」と期待されます。

「一人前になりたい」という3人の強い意気込みが伝わってきます。

後継者として安心して指導できます。

今後の姿と課題

3年後に、こけし工人として独り立ちさせることが目標です。短期間に効果的な指導をすることが重要であることから、日々工夫して指導育成に取り組んでいます。



伝統技術と、若い世代の活気と感覚が融合して、新しい伝統が生まれていくのです。

遠刈田系こけし



《刃物を使用するため、真剣勝負です》

中心市街地にぎわい創出プロデュース事業【岐阜県】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【産業振興分野】

にぎわい創出の基本は、そこに人々を惹きつける「モノ、コト、ヒト」が魅力的な存在としてあり続けることであるとの考えのもと、「この場所にしかないもの この場所でしか体験できないこと この場所でしか出会えない人」をテーマに、県都岐阜市の玄関口であるJR岐阜駅周辺地域のにぎわい創出を図る。

岐阜県



事業概要

JR岐阜駅周辺地域における新たなにぎわい創出拠点となる「EKI-Site43Gifu(エキサイト43ギフ)」の事業企画・運営スタッフを雇用し、店舗での接客やイベント開催業務を行う。

地域雇用失業情勢
(平成21年6月時点)

岐阜県 0.44倍(季調値)
岐阜管内 0.51倍(原数値)

委託先

株式会社岐阜シティ・タワー43開発
(本社:岐阜県岐阜市)

新たな
雇用創出数

6人

事業費

約51,598千円
(平成21年度)

MERgE(マージ)

融合をコンセプトとして、機能性・デザイン性に優れた生活用品やギフトを国内外から集めたショップ & カフェバー



Market-Site(マーケットサイト)

昼はランチボックスの販売
夜はビアガーデン
日曜は野菜の朝市



“エキサイト43ギフは、季節や時間帯で変化する4つのサイト”

Aji-Site(アジサイト)

岐阜の話題の味や隠れた名物の
期間限定ショップ



Mono-Site(モノサイト)

岐阜のこだわりグッズの
期間限定ショップ



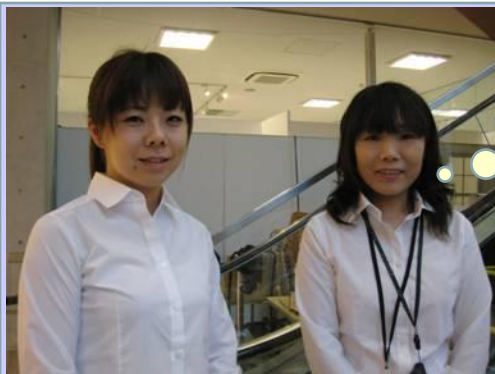
岐阜・日本 世界の「ヒト・モノ」の融合

MERGE

「マージ」
誕生。

この夏、岐阜シティ・タワー43に「エキサイト43ギフ」が誕生！
EKI-Site 43 Gifu

スタッフの
みなさん



いつも笑顔で、
お客さまを迎え
ます。



ここでしか手に入らないモノ
ばかりです。一度、ご覧くだ
さい。



楽しいイベントを
企画し、いつ来て
も新しい場所にし
ます。

お客さまから
の声

「駅前がにぎやかになった」「働いている
人も活気がある」など、お客さまからは、
好評の声が多数寄せられている。

今後の姿と課題

順調な走り出しをしたので、今後、
季節感のあるイベント展開で、さら
なるにぎわい創出を図っていく。



管理・運営担当リーダー
大橋通広さん

新たなスタッフと共に、この
岐阜駅周辺地域がにぎわい
のある街となるよう頑張りま
す。



テープカットセレモニー



ワイン講座



フレアバーテンダーショー



チームMERgEミーティング

事例紹介

ふるさと雇用再生特別
基金事業
【農林漁業分野】

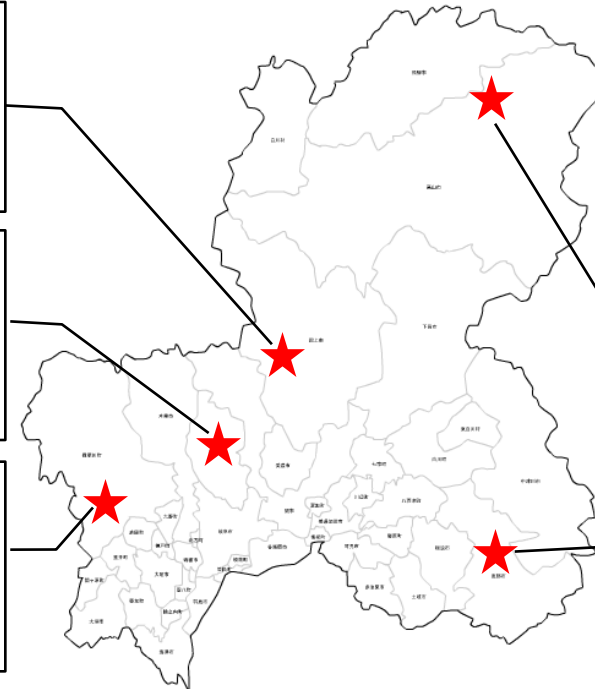
岐阜県内の豊かで変化に富んだ地域資源を活用した取組(グリーン・ツーリズム、ワーキングホリデー、教育・研修など)のビジネス化を支援することで、農村における交流・定住人口の増加、雇用の拡大及び農村地域の活性化を図る。

事業概要	県内の地域資源(自然、文化・伝統、農林地、空家等)を活用し、農山村の交流・定住人口の増加につながるビジネスモデルの構築とその実証を行う		
キーワード	①田舎で遊ぶ、②田舎で学ぶ、③田舎で貢献する、④ぎふを耕す、④田舎で暮らす		
委託先	公募型プロポーザル方式により選定した県内5団体	新たな雇用創出数	9人
事業費	約3,200万円(平成21年度)	事業の開始	平成21年5月～

特定非営利活動法人メセコイアの森の仲間たち
(所在地: 郡上市八幡町島)
郡上市内での耕作放棄地等を活用した新たな農業体験・農村イベント等都市農村交流事業の展開。 【新規雇用2名】

ぎふ農業協同組合
(所在地: 岐阜市司町)
山県市美山地区でのアグリポータルセンター(仮称)の設置による都市農村交流事業等の展開。 【新規雇用1名】

山菜の里いび
(所在地: 揖斐郡揖斐川町春日六合)
揖斐川町春日地区での「山菜」をキーワードとした都市農村交流事業等の展開。 【新規雇用2名】



事業実施箇所

株式会社和仁農園
(所在地: 高山市上宝町見座)
高山市上宝地区での農業体験、環境教育に関する都市農村交流事業や耕作放棄地再生利用等の展開。 【新規雇用2名】

株式会社モールデック
(所在地: 各務原市前渡西町)
恵那市岩村地区でのログトレーラーハウスを活用したクラインガルテン(農園付きコテージ)事業の展開。 【新規雇用2名】

県内5箇所において、民間団体の創意工夫で多彩な事業が展開され、スタッフの皆さんも活躍中です。今回の各事業が農村ビジネスとして確立されれば、基金事業終了後も雇用が継続され、定住人口の増加や農村地域の活性化の一助になるものと大いに期待されます。

特定非営利活動法人マセコイアの森の仲間たち

汗水垂らして働くことは最高です！
by 永吉さん



郡上での暮らし方をつくっていききたいです！
by 靱山さん



子どもと泥んこ遊び



土☆コミュニケーション農園

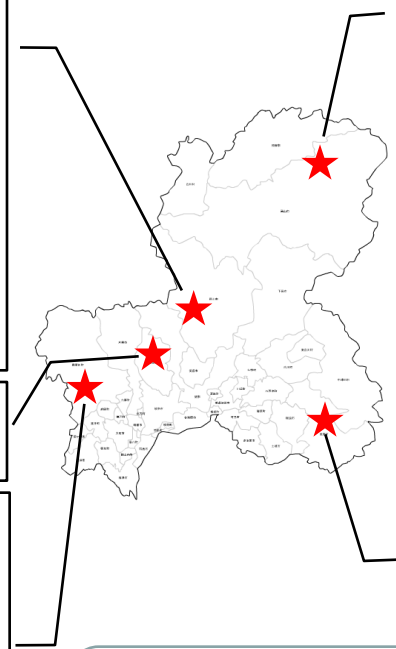
ぎふ農業協同組合
7月から事業展開が始まったばかりです。

山菜の里いび

活動の立ち上げ時期で、毎日多忙ですが、愉しく仕事をさせてもらっています。
by 田口さん



じゃがいも収穫体験のお手伝い



野菜作りは初めてですが、この楽しさを多くの人に伝えたいです。
by 小林さん

株式会社和仁農園

農業は常に研究の連続で大変ですが、非常に楽しいです。
by 中西さん



農作業は厳しいですが、自分の手で作物を育てることは楽しいです。
by 中田さん



環境調査の後の楽しい昼食

株式会社モールデック



トレーラーハウスやWEBサイトづくりで、いろいろ教えてもらいながら、毎日楽しく仕事しています。
by 周さん



抜群のロケーションのモデル農園

琵琶湖森林レンジャー活動事業

【滋賀県】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【農林漁業分野】

事業概要

県民の皆さんが広く森林に親しみ、そして、理解してもらえるよう、拠点となる県内の3つの森林公園等に「琵琶湖森林レンジャー」を配置する。

事業費

26,814千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

委託先

(ア)有限会社西浅井総合サービス
(イ)滋賀北部森林組合
(ウ)近江鉄道ゆうグループ

配置拠点と 新たな雇用 創出数

(ア)山門水源の森(伊香郡西浅井町) : 2人
(イ)県立きゃんせの森(米原市) : 1人
(ウ)県立近江富士花緑公園(野洲市) : 2人



県立きゃんせの森



県立近江富士花緑公園



滋賀県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

滋賀県 0.37倍(季節調整値)

業務内容

①森林ガイドや様々な世代を対象にした森林環境学習の企画と実施

②施設のモデルプログラムの開発や
観察路の維持点検

③貴重種保護などのための
森林パトロール

④森林の重要性や森の恵みなど
についての普及啓発



森林レンジャーの声



自然が大好き。自然の中で仕事ができ、公園に来る子どもたちに、学習プログラムを通じて、この自然の素晴らしさを伝える仕事ができることがうれしいです。

どんぐりの木が好きなので、今後は、皆さんから「どんぐり博士」と呼んでもらえるように、専門知識を身につけて、どんぐりの木を使った学習プログラムを作っていくことができればと頑張っています。

人と自然の間に立って、人と自然、人と人をつなぐ仕事ができることに魅力を感じています。この素晴らしいフィールドを活かして、人と自然、人と人をつなげるような、新しい環境学習プログラムを手作りしたいです。



今後の姿と課題

滋賀県労政能力開発課
緊急雇用対策室
Mさん

- ・ この事業の実施を通じて、琵琶湖の水源である森林の持つ多面的な機能に着目した新たなビジネスの創出につながることを期待しています。
- ・ これからも、琵琶湖や森林、農地といった滋賀の持つ資源を活かしながら、また、福祉や医療、教育など県民の皆さんのニーズの高い分野での雇用創出に重点的に取り組み、地域活性化を図っていきたいと考えています。

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業

【教育・文化分野】

茶道用の炭は湯を沸かす「炭点前」の必需品で、理想とされる美しい菊状に断面を仕上げるには温度調節など高度な技術が必要です。茶道に欠かせない炭の安定供給を、雇用という形で体制整備し、伝統文化を残すお手伝いをしたいです。

株式会社カーボテック 代表 石橋 昇さん



事業概要

京都府内で国産茶の湯炭の製造を復興し、事業化することによって、茶の湯文化の維持発展・府内の森林整備・地域力再生を図る。

委託先

株式会社 カーボテック
(本社:京都市上京区)
従業員数 7人

新たな
雇用創出数

7人

事業費

約2,350万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年8月～

地域雇用失業情勢
(平成21年5月時点)

京都府 0.52倍
京都市 0.57倍
(ハローワーク西陣管内)



主な業務分担

- 管理技術員⇒技術員の指導及び管理 (1名)
- 林業技術員・作業員⇒クヌギ原木の伐り出し・搬出作業 (3名)
- 製炭技術員・作業員⇒窯造り・製炭・切断箱詰め作業 (3名)

事業計画の
公募

本事業は、京都府が実施した「企業等からの提案型事業」により採択され、事業実施されるもの。



《茶の湯用の炭～美しい菊状の断面》

事業の背景と ねらい

国内の森林荒廃や担い手不足が進む中、茶の湯炭の大半を担ってきた中国産が5年前に輸出禁止となり、将来的に供給不足となることが懸念されている。

ふるさと基金事業を活用して失業者を雇い入れ、事業を立ち上げる。森林組合から技術的協力を得ながら、森林整備の担い手を雇用し、将来的には炭焼き技術の継承者として育成する。

森林を育成しつつ、10日間燃やし続ける「炭焼き」を復興し、将来的には国内需要相当分の生産を目指す。(初年度目標5トン)

日本の伝統文化である茶の湯(茶道)の維持発展を図る

《茶の湯用の炭は「炭点前」の必需品》

今後の姿と課題



京都府商工労働観光部
緊急経済・雇用対策担当
細見 史子さん

文化や環境など、京らしさを兼ね備えた事業として期待してます。

「丹波の炭」のような新しい京都のブランドとして成長し、雇用の場が拡大していけばいいですね。



《炭の復興にあわせて森林整備やそれを担う人材育成を行う》



事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【子育て分野】

佐賀県学童保育支援センター事業 【佐賀県】

事業概要

放課後児童クラブの総合的な相談・支援の窓口となる学童保育支援センターを設置し、クラブの運営や活動をきめこまやかに支援することにより、子どもたちの安全で豊かな放課後の居場所づくりを推進する。

委託先

特定非営利活動法人
佐賀県放課後児童クラブ連絡会

新たな雇用 創出数

20名

事業費

66,004千円
(平成21年度)

事業 開始

平成21年
5月～

業務内容

放課後児童クラブへの訪問支援・相談支援事業

支援センターの支援員が、放課後児童クラブを訪問し、相談支援を行います。

ネットワーク事業

放課後児童クラブの課題を解決するための行政、学校、地域の子育て支援関係団体等による支援体制づくりを行います。

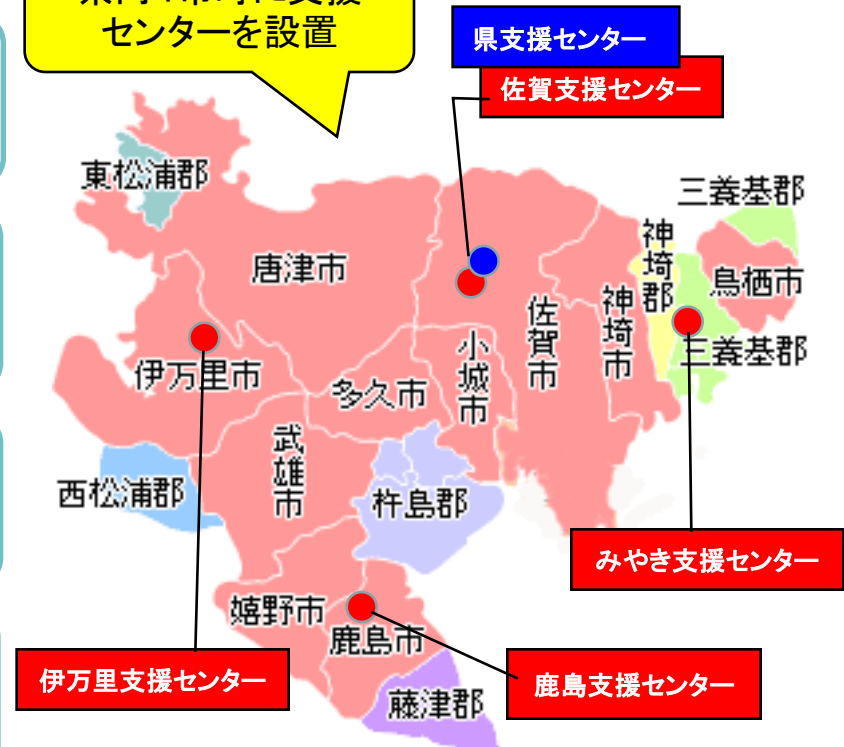
専門機関からの専門相談員の派遣、出前講座等の提供事業

外部の専門相談員等の派遣による相談支援や放課後児童クラブへの出前講座等の提供を行います。

人材養成及び人材バンク登録・管理事業

指導員の養成や初任者研修等を行います。
指導員の人材バンクの設置・登録・管理事業を行います。

県内4市町に支援 センターを設置



支援員の活動状況

現在、県内約200箇所の放課後児童クラブを訪問して、指導員や保護者の方々からの相談を受けたり、地域の団体みなさんとともに遊びや生活づくりのプログラムを提供したりしています。



伊万里支援センター
中原 健太郎さん

放課後児童クラブへの様々なプログラム提供を通して、子どもたちとふれあうことがとても楽しいです。放課後児童クラブをもっともっと楽しいところにしていきたいです。



鹿島支援センター
山口 亮子さん

放課後児童クラブの指導員という立場を離れて見えてきたものがあります。今必要とされている支援は何なのかを考えながらがんばっている指導員さんを応援していきます。

◆放課後児童クラブの指導員は毎日悩みながら子どもたちと接しています。現場の課題を一緒に考える仲間として、私たち支援員をどんどん利用してください。
◆私たちは地域の情報を放課後児童クラブに届けるだけでなく、子どもひとりひとりの成長を一緒に見守っていきたくて考えています。

◆放課後児童クラブがひとりひとりの子どもにとって安全で心地よい居場所となる

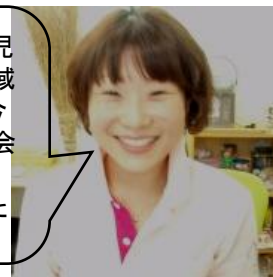
◆地域が子どもに温かなまなざしを向ける
◆子育てが社会の喜びとなる

保育士の経験を活かして、今まで直接子どもと接していた立場から視点を少し変えたところで、放課後児童クラブの支援を行っています。



みやき支援センター
泉 折恵子さん

支援員として放課後児童クラブの訪問や地域の中へ動き出して、今までにない幅広い出会いを重ねています。子どもたちの笑顔のためにがんばります。



佐賀支援センター
早田 磨理子さん



オープニングフェスタでは支援員全員が放課後児童クラブの充実と発展を目指して活動する決意表明を行いました。



学童保育支援センタースタッフ

鹿島市中心市街地活性化推進事業 【佐賀県鹿島市】

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【産業振興分野】



中心市街地活
性化のため、
力を合わせて
頑張ります。

佐賀県



鹿島市

事業概要

中心商店街のイベント開催や個店への講習会等を通じ商店街や個店の魅力向上を図り、空洞化しつつある中心市街地の再活性化を図る。

委託先

鹿島商工会議所

新規雇用数

4人

事業開始

平成21年5月～

委託費

1,411万円
(平成21年度)

事業内容

- (1) 中心商店街等のHPの作成や情報誌発行に関すること。
- (2) 商店街共同大売出し等の企画や個店指導・講習会の開催補助に関すること。
- (3) 買い物代行サービスのニーズ調査及び実施に関すること。
- (4) まちなか案内所(コミュニティ施設)の管理運営や施設での教室・講座の開催に関すること。

○地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

佐賀県 0.41倍
鹿島管内 0.36倍



平成21年5月16日に開設した
〔なかいけ庵 よらんね〕

「なかいけ」とは、途中休憩という意味。買い物等の途中休憩で利用してもらいたい。

事業に携わるスタッフの皆様



「よらんね」とは方言で「お寄りください」という意味です。皆さん、お気軽にお立ち寄りください。

松本 直治さん



「鹿島の良さ、有明海産の海産物などを紹介します。」

片瀬 正芳さん



「住民ニーズ、地域課題に応え、まちづくりに取り組みます。」

山口 健二さん



「まちが元気になれるように応援します。人と人の絆を大切にふれあいの場を築いていけるように頑張ります。」

井上 法子さん



中心商店街では、各店舗が「のれん」を掲げ「発酵文化の香る街」をPRしています。

酒や味噌づくりが盛んに行われている鹿島市の中心市街地では「発酵文化の香る街」として、まちづくりを進めています。



以前、中心商店街は非常に賑わいのある街でした。イベントの時など、前に進めないほど人が多かったことを記憶しています。これからは新しい形で活気のある中心商店街をめざして、新たに雇用された方々と一緒にまちづくりに取り組んでいきます。

鹿島市中心商店街連合会
会長 中川 龍生

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【介護・福祉分野】

沖縄県労福協が運営する当センターの特徴は、単なる就職支援だけではなく、子育てや介護があってもなかなか就職できない、就職しても継続できないといった悩みを抱えているみなさんの支援に重点を置いていることです。

今後、少子高齢化はますます進行すると予想されます。そうしたなか、こうした社会的意義のある事業を軌道に乗せ、継続的な雇用創出につなげていくことが私たちの役割だと考えております。



(財)沖縄県労福協
就職支援センター事務局長
安里 優 さん

事業概要

子育て支援相談、介護支援相談、就職支援相談に関する専門員等を雇用・配置し、子育てや介護などを抱えてなかなか就職できない、就職しても継続が難しい人たちの支援を行う。

委託先

財団法人 沖縄県労福協
(所在地: 沖縄県那覇市)
従業員数25人

新たな 雇用創出数

16人

事業費

約5,564万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年6月～



地域雇用失業情勢

* 事業開始時点の有効求人倍率
0.28倍
(ただし、沖縄県全体の数値)

業務内容

- ①子育て支援: 子育てが大変で、就職活動や就職継続に困っている人たちに対して、各地域に密着した子育て支援NPOと連携して、子育て支援を行う。
- ②介護支援: 介護が大変で、就職活動や就職継続に困っている人たちに対して、各地域に密着した介護支援NPOと連携して、介護支援を行う。
- ③就職支援: 就職基礎力アップ講座とそれに続く3か月にわたる就職活動バックアップや、インターンシップ、合同企業説明会の実施等により、就職活動を支援する。



スタッフのみなさん

子育て世帯、介護世帯が抱える悩みや問題は様々。そうした方々の多種多様な生活の悩みや相談にこたえられるよう、社会福祉士などの有資格者をはじめ、個性豊かなスタッフが揃っている。



子育て支援アドバイザー
宮城絵里奈さん

若輩ですが、子育ての悩みや不安を抱えているみなさんのお話の聞き役としてがんばります。



介護支援コーディネーター
平良博子さん

『生活のこまった!?』を解決できるよう頑張ります!!



相談員(那覇南部/中部)
崎原宏子さん

自分のこれまでの経験を生かし、体力とフットワーク、明るい笑顔でがんばります。

利用者・関係者からの声

利用者である子育て世帯や介護世帯の人たちだけでなく、雇用する側の企業や事業の連携先である子育て支援NPO、介護支援NPOなどからも期待の声が寄せられている。

子どもがいて、就職活動が思うようにいっていなかったの、こうした支援があると助かります。
(子育て世帯)

介護があって仕事が続けられないかと思っていたけど、こうした支援があれば助かります。
(介護世帯)

子育てや介護を支援することで、就職できる人たちが多くいることは経験上分かっていたが、本格的な就職支援まではなかなかできなかったの、この事業に期待しています。
(子育て・介護支援NPO関係者)

子育てや介護を理由に退職する人も結構いるので、こうした事業があるなら、積極的に活用したい。
(県内大手スーパー関係者)

今後の課題と展望

当面は、周知徹底と利用者増を図ることが課題。並行して、各地域のNPOや行政、企業との連携強化・ネットワーク構築を図り、最終的には、地域のワンストップサービスセンターを目指す。



総合就職支援コーディネーター 濱里正史さん

この事業の鍵はネットワークづくりだと考えています。当面は、各地域に密着した子育て支援NPO、介護支援NPO、生活支援NPOとの連携強化が最重要課題ですが、各市町村の担当課や多くの企業の人事担当などもネットワークを築き、幅広くきめ細かい支援ができるようにしたいと思います。最終的には、介護関連事業を直接手がけることも含め、事業を軌道に乗せ、雇用の継続を目指します。



* 那覇・南部センターの開所式の様子(7月10日)

ふるさと雇用再生特別基金事業事例集

平成21年9月

厚生労働省職業安定局
地域雇用対策室

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業

【産業振興分野】

北秋田市を儲かる地域にするため、私達は立ち上りました。地元事業者とのパートナー関係を構築し販売を行い共栄する。産業界にとって今必要なことは、成功事例であると確信しています。私どもはその魁としてこの試みをどのような苦難や試練があっても必ず成功させなければならないと決意を新たにしています。



北秋田名物株式会社
代表取締役
野宮 幸博さん

事業概要

地域ブランドを総合プロデュースする会社を設立し、地域ブランド商品の創出及び、販売も行う。又、街づくり事業として市の振興の一翼を担う。

委託先

北秋田名物株式会社

新たな
雇用創出数

11人

事業費

3125万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年7月～

秋田県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

秋田県 0.29倍(季節調整値)
北秋田市管内 0.29倍(原数値)

業務内容

新たな株式会社の創業

公益性

五分野

ホームページ開設支援

地元商業者の販売支援

観光案内施設「べ」の運営

企画・コンサルタント・商品開発支援

地域ブランドの創出による北秋田のPR



《北秋田名物株式会社を創業した6人》



観光コンシェルジュの皆さん

北秋田市の素晴らしい体験滞在型観光商品を、訪れる観光客にワンストップで紹介する「観光案内サービス」を提供し、広く北秋田市の観光をPR致します。

北秋田の素晴らしい自然を皆様に伝えます。



観光コンシェルジュ

お客様にホスピタリティを持って対応させて頂いております。



物産品の販路拡大に努めます。



情報部、営業部、総務部



北秋田名物推奨品

推奨品に貼つてます。



@事業部

創業者たちからの声

眠っている観光ブランドを掘り起こして全国に北秋田を発信し儲かる地域づくりに貢献して欲しい。

今後の姿

この会社が3年後、立派に機能し、私たちが幼少の頃の活気をこの北秋田市に取り戻す事が最大の目標です。



内陸線
鷹巣駅前
本社

駅前の左右です



JR鷹ノ巣駅前「べ」



駅の駅「べ」

「儲かる地域」と新たな賑わいの創出を目指して！



外国からいらしても大丈夫です。
ご当地キャラクター作成中。
感動を伝えます。
観光の提案いたします。
お待ちしております。
猛勉強中です。

コンシェルジュ一同



就業のための日本語習得事業【三重県】

事業紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【教育・文化分野】

昨年からの経済の悪化で失業し、再就職を望む在住外国人から日本語学習の希望の声が多く寄せられていました。日本語だけでなく日本の習慣、常識、ルールなどを知らないまま、長年日本に暮らしている人がいます。外国人にとっても、日本語学習の機会ができたことは重要ですが社会の隣人として向き合う、日本人にとっても大事な事業を行うことができたと思います。



NPO法人愛伝舎
理事長 坂本久海子さん

事業概要

就労のための専門的な技術習得や介護技術の習得等に必要な基本的な日本語能力を外国人労働者に身につけてもらうため、日本語講師を雇用し、日本語教室を開催する。

委託先

NPO法人愛伝舎（2005年設立）
所在地：三重県鈴鹿市、従業員数：6名

新たな 雇用者数

2名

事業費

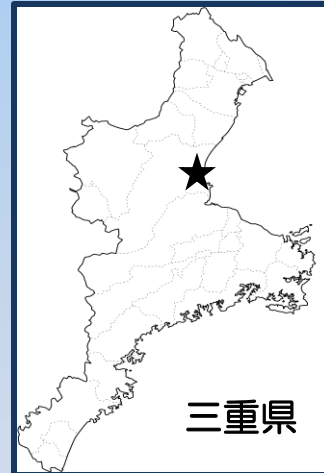
約859万円（平成21年度）

事業開始

平成21年6月～

事業内容

日本語能力が十分でない外国人に対して就労のための日本語の講義を行うとともに、受講終了後の就労に向けた支援等を行う。



三重県

授業の様子



ポイント！
日系人が多く
住む団地の公民館
を活用して授業を
行っています。

地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率)

- 三重県 0.39倍
(季調値)
- 鈴鹿管内 0.26倍
(原数値)

日本語教師のみなさん



日本語教師
大津さん

日本語教師
坂井さん

私も日系人で、日本に来てから日本語を学びました。日本語の文法の難しさはよく分かるので、ポルトガル語で日本語がまだよく分からない生徒さんに説明したいと思います。毎週の授業で、生徒さんが上達しているのを実感できて嬉しいです。

受講生さん達が、日本で仕事をして生活できるようになることが私たちの願いです。外国籍の方々が少しでも生活しやすくなれば、と思っています。

受講生のみなさん



受講生
シモネさん

始めたときは、日本語が何も出来ませんでした。今は、平仮名、カタカナはほぼできます。自分のためにもっと勉強したいと思っています。

この学ぶチャンスをととてもありがたいと思っています。就職するチャンスも大きくて、もっと自信を持ってやっていけるとおもいます。



受講生
リリさん



この教科書とノートを使って、日本語を勉強しています！！

今後の抱負（坂本理事長）

外国人の日本語学習の意欲は、たいへん高くなっていると思います。日本で暮らしていく上で、日本語ができるということは自立して暮らす第一歩ですし、職業や生活の場面に合わせた授業を行うなどこれからも日本語教室の運営を進めていきたいと思っています。

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【産業振興分野】

豊かな自然環境や地域資源を有する但馬・丹波・淡路地域でのコミュニティ・ビジネス(以下、CB)等の起業・就業を促すため、起業・就業支援のノウハウを持つ中間支援組織を活用し、同地域でのCBの啓発・指導を行っています。

兵庫県



事業概要

但馬、丹波、淡路地域で、コミュニティビジネス(CB)啓発・指導等を行い、多様なCBの創出を図る。

委託先

- ・宝塚NPOセンター
- ・コミュニティ・サポートセンター神戸
- ・シーズ加古川

新たな 雇用創出数

7人

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の
有効求人倍率)

兵庫県0.47倍
(季節調整値)

事業費

16,997千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

業務内容

ふるさとCB指導員により、但馬・丹波・淡路地域でのCB起業を希望する団体等に起業実践例等を啓発・指導する。

失業者等を雇用しようとする但馬、丹波、淡路地域のCB団体等の掘り起こしを行う。

但馬、丹波、淡路地域のCB団体等と都市部の団体との協働による都市農村交流事業を実施する。



丹波地域ふるさとCB指導員と
事業スタッフ一同

ふるさとCB 指導員の声

ふるさとCB創出支援事業に携わって、但馬地域の多くの人々と出会い、NPO法人等のCB起業に対する熱い思いをひしひしと感じています。一日も早くCB団体の設立が具体化し、活動を開始されることを楽しみにしています。

初めて、法人設立の書類作成に加わり、楽しくできたので、自分には向いていると思いました。



指導員：芦田さん

相談を通じてまちの課題が明確になり、相談者は仲間と新しい組織(NPO法人)を作ることを決意されました。支援した成果が形となって現れることに非常に喜びややりがいを感じています。



指導員：榎本さん



NPO法人の設立に関する相談を受けていた団体が平成22年1月にはNPO法人として認証される見通しとなり、関係者の皆さんと喜びを分かち合いました。

NPO法人の設立認証申請書類を作成中



まちづくりに向けたCB起業相談

今後の姿 と課題

○但馬地域に多くのCB団体が生まれることで、雇用が生まれ、地域の活性化に繋がることを期待し、同地域にCB支援の拠点となる中間支援組織を設立することを目標としています。

○ふるさとCB指導員の両名は、地元関係者との繋がりを大切にし、粘り強く相談に応じています。CBの普及・啓発や起業支援に向けて活躍されることを期待しています。

〔 特定非営利活動法人
宝塚NPOセンター吹曾さん 〕

ふるさとCB 指導員の声

CBにより丹波地域が元気になるよう起業支援や普及啓発活動を行っています。また、同地域の特産物を活用したCBの安定的な運営をサポートするために阪神間への流通ルートの確立にも取組み、都市と農村が交流できるしくみづくりにも力を入れています。



指導員：
和田 聖士 さん

住宅の中に少しでも兵庫県産の木材が使われるような地産地消の運動を広げていきたいと思っています。

阪神間の援農市民団体が行う環境創造型農業による特産品づくりや販売支援等を行っています。



指導員：
大谷 敏行 さん

丹波地区の農産物のうち特にB級品を阪神地区で購入・利用できるように仕組みを支援したいと考えています。



指導員：
臼井 隆夫 さん

今後の姿と 課題

○丹波地域を盛り立てられるよう地域の方々と手を携え、解決の道を模索しています。特産品を多くもつ地域の特性を活かして、CBによる「ひょうごの食・森」のブランドを再生することが最大の課題と考えています。

○ CBの推進によって都市と農村の交流がますます深まり、丹波地域の活性化に役立つことを期待しています。

○ 学生や多くのボランティアの方の参加をいただきながら、多方面からの交流事業として活性化していきます。

○ 丹波地域のあらゆる資源を活用したCBの創出に力を発揮してもらいたいと思います。

〔 特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸 国枝さん 〕

間伐材を使った商品の
販路開拓支援をスタート！



フラワーポット

ふるさとCB 指導員の声

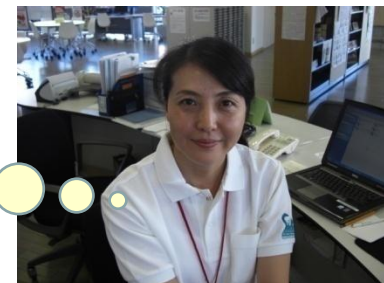
CBは、地域のニーズや課題を住民が主体となってビジネスの手法により解決する地域の事業です。CBの成功により地域の活性化に繋がられている例も多くあり、それをお手本に地域資源を多く持つ淡路地域が元気になるようサポートしていきたいと思います。

地域の実情は色々で課題も違いますが、共に勉強をしながらコミュニティ・ビジネスを実現させたいと思っています。



指導員:原田 至康さん

淡路地域を元気にするお手伝いが出来れば嬉しく思います。



指導員:西岡 久美子さん

CBに関心を持ち、日々勉強しながら頑張っています！
CBにより淡路地域を盛り上げたいという意気込みが伝わってきます。



日々、勉強です。

今後の姿と 課題

○現在はそれぞれの地域の課題や活動状況の情報収集に努めていますが、課題に対する解決手法を地域の方々と相談しながら、法人設立や事業運営、広報等についての支援を展開していきたいと考えています。

○淡路で生まれたコミュニティビジネスが淡路とその他の地域を繋ぐ架け橋になることを期待しています。

〔 特定非営利活動法人シーズ加古川
柏木さん 〕



明石海峡大橋

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【産業振興分野】

食という地域に根差した地域文化を調査、発信することで、新規スタッフからは「地域に関心が持てるようになった」、「マチを面白くしてみたい」と、仕事のやりがいと同時に、自分たちの住むマチへの関心への高まりを感じます。
雇用創出にくわえ、次世代のマチづくりの人材育成の場にもなるように、今回の事業を「地域力創造」に発展させていきたいと思ひます。



鳥取情報文化研究所
所長 植田英樹さん

事業概要

鳥取県の食文化、食の豊かさや飲食店情報を収集、整理し、ガイドブックの定期刊行、HPにより観光客等へ広く情報発信する。

委託先

鳥取情報文化研究所

新たな 雇用創出数

5人

事業費

1,784万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年5月～

鳥取県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)

業務内容

調査員の個別訪問、取材等による鳥取県の食文化・飲食店情報の収集・整理

県内飲食店情報や食に係るイベント、鳥取の食文化の分析等を紹介するガイドブック「鳥取食探」(A4版4頁)の定期刊行(毎月1回)と旅館、観光施設等への配布

ホームページ「鳥取食録」の管理運営と情報発信
<http://shoku-ryoku.tottori.to/>



ガイドブック「鳥取食探」創刊号

新規雇用の
皆さんの声



編集部員兼デザイナー 角田治さん

やりがいのある事業に参加できてうれしいです。デザインも多様で今までにない面白い仕事ができます。



調査員兼編集補助 山崎勝志さん

制作に携わったものが世間に出て、多くの人に見てもらえることが嬉しいです。



調査員(県東部) 西田聖子さん

県外から移住して来たので、鳥取を知る機会が増えたこと。そして、いろいろな方との出会いがあることが嬉しいです。



県中部・県西部担当の調査員

目 標



地元暮らし人はもちろん、観光で鳥取を訪れた人に鳥取の食に関する様々なうちく、名物料理や飲食店情報を毎月発行のリーフレットやホームページを使って情報発信することで、鳥取県が「食のみやこ」であると実感できるよう、食を切り口とした地域の活性化を目指しています。

〔 鳥取情報文化研究所 所長 植田英樹さん 〕

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【スポーツ分野】

子どもから高齢者まで幅広い対象のスポーツ教室を実施し、多くの県民にスポーツに親しむ機会を提供しています。

本事業が地域雇用の創出につながるとともに、県民の体力向上や健康増進に寄与することを期待しています。



財団法人鳥取県体育協会
会長 田淵康允さん

事業概要

競技者や指導者として豊富な経験を有する者をスポーツ指導員として雇用し、スポーツ教室の企画・立案、ジュニア選手の指導等、鳥取県におけるスポーツの普及・発展及び競技力の向上を図る。

委託先

財団法人鳥取県体育協会

新たな 雇用創出数

3人

事業費

10,988千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

鳥取県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)

業務内容

コカ・コーラウエストスポーツパーク内のトレーニングルーム利用者への指導や地域に出向いての外部指導

スポーツ教室(サッカー、ホッケー、ニュースポーツなど)の企画・運営

スポーツに関する広報を行うとともに、スポーツ相談コーナーに寄せられた一般の方からの問い合わせに対応



《ボルト選手などジャマイカ陸上チームも合宿を行った「コカ・コーラウエストスポーツパーク」》

新規スポーツ指導員のみなさん

私たち3名の指導員は、ひとりでも多くの県民の皆様には運動する楽しさや爽快感を体験していただくために、スポーツ教室の指導や広報活動に励んでいます。

スポーツの指導に大変やりがいを感じています。



体育指導員 市村恒久さん

スポーツに親しめる環境づくりに励んでいます。



体育指導員 細田謙治さん

スポーツすることの楽しさを伝えることにやりがいを感じています。



体育指導員 齋藤綾美さん

お客様からの声

新しい指導員の方と楽しく汗を流しています。これからもスポーツ教室がますます充実することを期待しています。

子どもがスポーツ教室のある日を楽しみにしています。

私たちの地域にも指導者が来てくれてうれしいです。



《 サッカー指導中 》

今後の姿と課題

多種目の教室を実施していますが、多様なニーズに応えるために、教室の見直しや内容の充実を図っていきたくと考えています。



3名の体育指導員の特性に合わせたスポーツ教室を実施し、より多くの県民の方にスポーツに接するキッカケ作りを提供したいと考えています。

財団法人鳥取県体育協会
事務局長 飯塚雅夫さん

Uターン相談・宿泊体験ハウス管理事業【鳥取県：鳥取市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【産業振興分野】

近年、関西圏や首都圏などの都市部に住んでいる人々を中心に、田舎暮らしやUJIターンを希望する人が増えています。
鳥取市では、全市あげて、特に若者や団塊の世代を中心に帰鳥・移住、UJIターンを促進しています。行政機関の支援制度や住宅・就業・生活に関する情報を総合的に提供するとともに、各種相談をお受けしています。

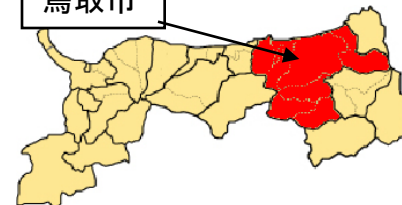


鳥取市企画推進部
企画調整課地域振興室
宮本 健さん

事業概要

鳥取市へのUJIターン者や、二地域居住者がスムーズに定住等していただけるように企画・運営・サポートを実施し、移住定住、二地域居住などの促進につなげる。

鳥取市



委託先

(財)鳥取開発公社

新たな 雇用創出数

4人

事業費

9,972千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年5月～

地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)
鳥取管内 0.37倍(原数値)

業務内容

①市内移住定住・二地域居住希望者への相談対応業務

②県・市職員・(財)ふるさと鳥取県定住機構職員等からの相談窓口調整業務

③移住定住・二地域居住につながる各種補助事業の活用説明と各種補助

④移住定住・二地域居住に係る先進事例等の情報収集並びに県、市、関係団体等への情報提供

⑤県内外での移住定住・二地域居住に係るイベント等への参加及び情報提供

⑥「木造住宅モデル普及事業」の展示ハウス・宿泊体験ハウスの管理運営



一口に移住定住、二地域居住といっても様々なケースが考えられるので大変です。まず、鳥取市を知ってもらおう参加型の様々な体験メニューを旧鳥取市域、また新たな新市域(国府・福部・河原・用瀬・佐治・鹿野・気高・青谷)で展開。おためし宿泊体験施設もあります。(ホームページ <http://www.city.tottori.lg.jp/>)



風情のある城下町 鹿野町のお試し体験施設

鳥取の良さをいろいろな角度から知って
もらいたいです。
魅力一杯ですよ。

お試し体験施設の利用料は、
1日1組1,000円です。最短
3日から最長2カ月までご利用
可能です。(鹿野町・佐治
町に各1棟)



移住定住推進員 宮路幸雄さん

お客さまからの声

鳥取市相談支援窓口におられる方々の対応は、相談者の立場で親身になって話を聞いて頂けるのでとても感謝しています。又、定住後も継続して相談できるのがありがたいですね。

今後の姿と課題

どんな場面であっても、お客様のニーズに合わせた対応ができるようになることが大切。そのためにも、スキルの向上が必要です。また受け入れ側の方々の協力が大切であり、つながりを密にしていきたいです。 [移住定住推進員 宮路幸雄さん]



佐治町 山王滝

福祉の店販売促進事業【鳥取県:倉吉市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【福祉分野】

福祉の店は鳥取県の中部地区18の授産施設、作業所、障がいのある方の関係団体で構成されており、平成12年に設立しました。販売実績も年々、少しずつですが増加しています。

昨年6月から倉吉市役所、今年度から鳥取県中部総合事務所で出張販売をしています。また、ショッピングセンターや各種イベントの時に来店しています。

今回、ふるさと雇用再生特例基金事業で、障がいのある方を2名雇用し販売促進を実施していますが、まずは接客業務を経験してもらい、次のステップにつなげていきたいです。



中部地区福祉の店
振興協議会
会長 八渡和仁さん

事業概要

障がいのある方の授産施設等で作られた、食品・農産物・手芸品等を福祉の店で販売する。障がいのある方を雇用し販売促進等を行う。

委託先

中部地区福祉の店振興協議会

新たな 雇用創出数

2人

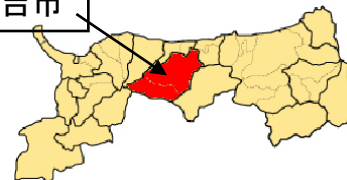
事業費

2,234千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

倉吉市



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)
倉吉管内 0.39倍(原数値)

業務内容

月曜日から金曜日に福祉の店で食品・農産物・手芸品の物品の販売補助

倉吉市役所や鳥取県中部総合事務所、ショッピングセンターや各種イベントの時の出張販売での販売の補助

福祉の店チラシをパソコンで作成し、出張販売の時等にPR



《 シビックセンターたからや内にある福祉の店 》

障がいのある職員

以前の仕事と全然ちがう販売の仕事ですが、お客さんとのふれあいは楽しいです。(山下さん)
これまで、営業をしてきましたが、店の販売の仕事ははじめてです。楽しみながら自分のペースで仕事をしています。お客様にも声をかけたりして接客に心がけています。(本田さん)

市役所に毎週金曜日に販売にいきますので、皆さん買ってくださいね!



福祉の店の販売、PR担当
山下真吾さん

買っていただいたリピーターのお客様から声をかけてもらった時が嬉しいです。



福祉の店の販売、PR担当
本田経嗣さん

先輩職員からの声

今までの手書きの経理から、本田さんにはパソコン経理をしてもらい助かります。山下さんには、販売の他に清掃をしてもらい、きれいな店でお客様から喜ばれています。お客様に接するなかでいろいろな経験をして幅広い活躍を期待しています。



今後の姿と課題

障がいのある方の就労の場をひろげていくとともに福祉の店の益々の販売促進につなげていければと思います。

中部地区福祉の店
振興協議会
会長 八渡和仁さん

毎週楽しみにしています。
クッキーやクレープを良く買います。地域のおばちゃんも、野菜等を買いによく来られるそうです。



福祉の店は食品、農産物、手芸品等いろいろと品揃えをしています。おすすめは「打吹うどん」です。倉吉市のシンボル打吹山に伝わる天女伝説の羽衣をイメージに創作された、いままでになかった新しい食感のうどんです。

まるで天女の羽衣の食感!
鳥取県知事も大絶賛!!

《市役所で出張販売をやっています!》



環日本海定期貨客船利用者おもてなし事業【鳥取県:境港市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【観光分野】

待望の「環日本海定期貨客船航路」が21年6月に開設されました。この航路は境港市経済の活性化のみならず、西日本と対岸諸国の「人」・「モノ」・「文化」の交流を促進する「海の道」となるものです。「北東アジアに向けたゲートウエー・境港(さかいこう)」が発展するように、韓国やロシアなどからのお客様が日本に来て良かったと思われるようなおもてなしに全力を尽くしています。

境港市観光協会
黒田事務局長

事業概要

韓国の「東海」とロシアの「ウラジオストック」と境港を結ぶ環日本海定期貨客船が発着するフェリーターミナルに観光デスクを設置。外国語対応の可能な職員を配置し、観光案内や両替を行いおもてなしの充実を図る。

委託先

境港市観光協会

新たな 雇用創出数

2人

事業費

6,358千円

事業の開始

21年6月～

境港市



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.45倍(季節調整値)

米子管内 0.41倍(原数値)

業務内容

国際観光スタッフとして、外国人来訪者に各国(ロシア、韓国など)の言葉で境港市内をはじめ、大山・中海圏域等の観光案内

外国人観光客の両替や出入国手続きのお手伝い。
フェリーターミナルを利用する旅客等への湯茶のサービス

おもてなしの向上や航路の利用促進を図るため、接客を通じて、外国人旅行客の嗜好や旅行動向の把握



新規雇用の皆さん

境港市観光協会の国際観光案内スタッフとして外国人(ロシア人、韓国人、アメリカ人、中国人、ヨーロッパ各国の人々)の皆さんへ各国の言葉で観光案内、行き先案内を行っています。多くの外国からのお客様に心のこもった案内をしていきたいと思っています。

「外国からのお客様に心のこもった案内をしていきます。両替も担当しています。」
(塩谷晃司さん)



「ようこそ境港へ。各国の言葉で観光案内します。」
(景山アルピーナさん)



今後の姿と課題

この航路を利用してより多くの観光客が外国から来てもらいたいです。いろいろな言葉が飛びかい、頭の切り替えが大変ですが、おもてなしの充実に努め、国際交流の一助となればと思ひ頑張っています。

境港市観光協会 塩谷晃司さん



ふるさと雇用再生特別基金事業を活用した本事業を「環日本海定期貨客船航路」の発展と、本市経済の活性化・雇用の創出につなげていきたいと思ひます。

境港市産業環境部貿易観光課 浜田潤さん



事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【観光分野】

米子市は、日本のトライアスロン発祥の地であり、皆生温泉、大山、中海など温泉・自然に恵まれた地域です。こうした環境、資源を活用して、健康・スポーツをテーマとしたメニューを企画立案の上、お客様に満足いただける商品を提供したいと思います。



米子市観光協会会長
杵村 善久さん

事業概要

健康・スポーツを切り口とした新しいツアーメニューの開発による観光振興を図る。

委託先

- ①米子市観光協会
- ②皆生温泉旅館組合

新たな
雇用創出数

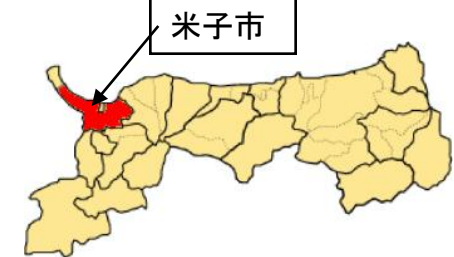
2人

事業費

7,500千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～



米子市

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)
米子管内 0.46倍(原数値)

業務内容

子供たちからトップアスリートの皆様まで、広くスポーツ合宿の誘致活動を実施。宿泊先の紹介や合宿中のコース案内・トレーニングサポート

ストレッチポール運動・ウォーキング・サイクリングなど健康増進運動と温泉の効果を活用した、健康メニュー商品を企画・実施

各種健康メニュー商品を既存の旅行商品に組み入れていただくよう、旅行代理店への企画・提案



《トライアスロン大会 大山を背景に》

スタッフの
みさなん

皆様にご満足いただける“健康とスポーツ”をテーマとした魅力的なメニューをご提案します！



米子市観光協会ヘルスツーリズム
プロデューサー 小原 エさん

米子市は海、山、温泉などの自然環境が大変豊富です。この環境を最大限に生かした健康プログラムやスポーツをテーマとしたメニューを作り出すことによって、多くのお客様にお越しいただきたいと思っています。米子の良さを体感していただき、健康増進やスポーツの競技力向上にお役に立てるよう頑張ります！



皆生温泉旅館組合ツアー
コーディネーター 平野 哲さん

メニューの
一例

大手代理店のツアーにも健康メニューを取入れていただきました。



トライアスロン日本・
中国地区代表選手
5名が合宿で利用さ
れました。

健康増進のための
ストレッチポール運
動です。



運動の後は、“海に湯が沸く
米子の皆生”温泉でさっぱり
汗を流して、心もリフレッシュ
してください！

今後の
取組み

事業を通じて、この地域を「健康」「スポーツ」「温泉」などをキーワードにしたイメージづくりを行ない、米子・皆生が心身のリフレッシュ・アスリートトレーニングのメッカになるよう目指していきます。 [米子市経済部観光課 課長 永江 浩庸さん]

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業

【教育・文化分野】

宮島細工の伝統工芸士は彫刻とロクロで各2名まで減少しており、技術の断絶が危惧されています。伝統産業の担い手を育成すると同時に、後継者が安定した生活ができるよう、新たな土産物を開発し、安定した雇用と技能継承の仕組みを構築したいと考えています。



宮島細工協同組合理事長
広川和男さん

事業概要

宮島細工を活用した、新たな土産物の開発、宣伝、販路開拓を行い、新しい宮島ブランドを作ることで伝統産業の後継者の育成及び観光振興を図る。



広島県

委託先

宮島細工協同組合
(広島県廿日市市宮島町)
組合員数12人

新たな
雇用創出数

4人
宮島細工の後継者(3名)
事業コーディネーター(1名)

事業費

約988万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年5月

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

広島県0.54倍(季節調整値)
廿日市管内0.19倍(原数値)

業務内容

古くから宮島にある伝統工芸「宮島細工」を活用した、新しい土産物の開発、宣伝、販路開拓を行い、新しい宮島ブランドを作ることで、伝統産業の後継者育成、宮島観光の振興に繋げる。



厳島神社の大鳥居



素地を活かした、繊細で写実的な装飾彫刻が特徴

事業の背景と ねらい

杓子を始めとして、彫刻、ロクロ、刳物などの木製品を制作する「宮島細工」の伝統工芸士が各2名となり、技術の断絶が危惧されている。



宮島の杓子「みやじまさん」



ロクロ細工 宮島彫り 杓子

宮島への観光客はH20で343万人と急増しているが、島内で製作された土産物品は少なく、一人当たりの観光消費額が増加していない。

「宮島細工」の後継者を3名雇用し、技術指導を行い、伝統工芸の後継者として育成するとともに、新しい土産物品の開発を行う。

事業コーディネーターを1名雇用し、新たな販路を開拓するとともに、インターネットを活用した情報発信を行い、宮島細工の今後の方向づけを行う。

宮島細工職人の声

1日を通して宮島彫りの仕事ができるようになり、大変嬉しい。今後も地道に継続していきたいと思えます。

今後の姿と課題

新たな土産物の素材として、宮島の地域資源を活用できないかと模索しています。

廿日市市商工労政課 大年 勇樹さん



宮島彫り 木肌にノミの刃を当てている様子

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【観光分野】

事業概要

愛媛県立とべ動物園に、利用無料の案内ガイドを配置し、動物園の魅力を高め、利用者をさらに増加させようとする事業です。
展示動物の案内を通して、命の大切さや環境学習、人と動物の関係について理解を深めることができる魅力ある動物園を目指します。

愛媛県



委託先

財団法人 愛媛県動物園協会
(愛媛県立とべ動物園指定管理者)
職員53人

新たな
雇用創出数

3人

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

平成21年6月
愛媛県 0.53倍(季節調整値)
松山管内 0.46倍(原数値)

事業費

約1,420万円(平成21年度)

事業開始

平成21年4月～

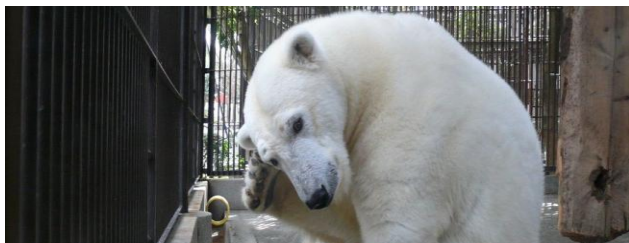
業務内容

平成21年6月から、ふるさと雇用再生特別基金事業として、新たに案内ガイド(3名)を雇用。案内ガイドは、動物や施設に関する疑問や質問にお答えしたり、積極的に話しかけたりしながら、来園者一人ひとりとの”出会い”“ふれあい”を大切にしています。



○園内は、地理学的配列を中心に10のゾーンに分かれています。ゾーンごとに動物を見ていくと、約180種1000点の世界中の動物に会えます。

○各ゾーンに観察のポイントを記した案内板や学習のための解説パネルなどを設置し、わかりやすく楽しく観ることができるように工夫してきました。



案内ガイド様子



私たちは、まだまだ勉強中ですが、来園者の皆さんの疑問・質問にお応えする仕事をしています。「案内係」の腕章が目印です。たくさんのお客さんと話すことができ、毎日楽しく仕事をしています。



どんなことでも構いませんので、私たちに気軽に声をかけて下さいね。

来園者の声から



ガイドさんが、わかりやすく動物の話をしてくれたので、動物がさらに好きになりました。



展示方法が工夫されているし、ガイドさんが熱心ですね。

園長よりメッセージ

動物園は、動物と人との出会い、ふれあいの場ですが、人と人との出会い、ふれあいを通して、「なぜ?」「どうして?」「なるほど!」「そうなんだ!」という「驚き」と「発見」と「感動」の場でもあります。私は、案内ガイドさんに、そのきっかけづくりをしてもらいたいと思っています。

皆さん、今後とも、当園をよろしくお願ひします。スタッフ一同、ご来園を心よりお待ちしております。



案内ガイドさんから話しかけてくれたので、気軽に質問できたし、会話も弾み、楽しい時間を過ごせました。

あったかふれあいセンター事業

【高知県】

(フレキシブル支援センター事業)

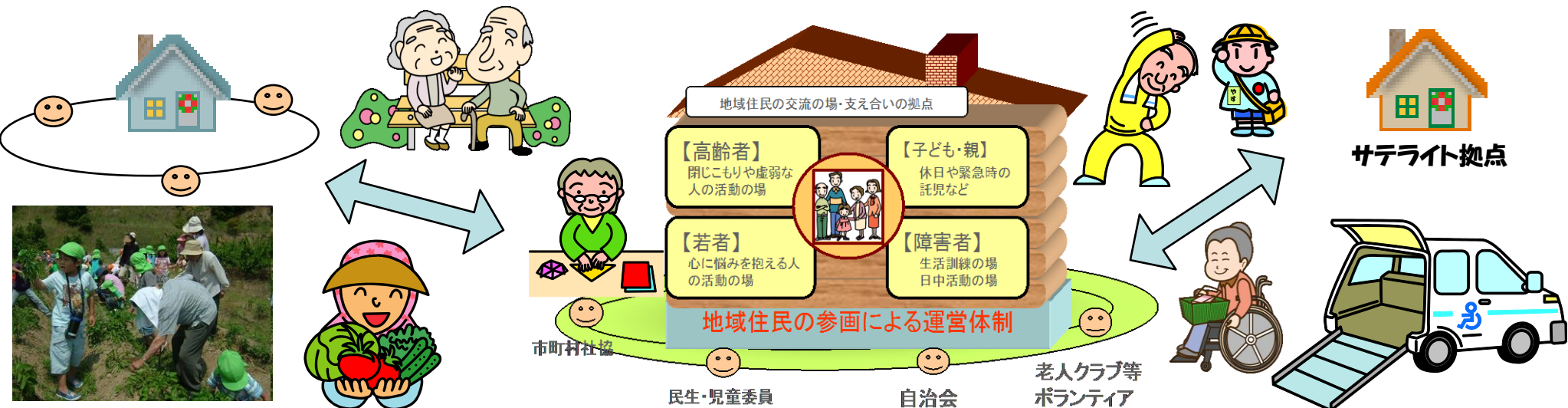
事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業
[介護・福祉分野]

高知県では、ふるさと雇用再生特別交付金の事例として示された「フレキシブル支援センター」を「あったかふれあいセンター」として事業化し、市町村での設置を促進しています。

本県の実情に即した小規模・多機能なサービスをこのセンターで提供します。

わたしたちの「あったかふれあいセンター」 ～みんなで支えあう新しいカタチ in 香南市～



事業内容

デイサービス事業所を拠点とし、あったかふれあいセンターを併設し、高齢者、児童、障害者等誰もが集い交流を深め、生活支援を行う場を提供する。また、平成22年度より各地区でのサテライト型のあったかふれあい事業を行います。
(H21:香我美地区、H22～:野市、夜須、吉川の3地区でも実施・・・合計4地区)

委託先

香南市社会福祉協議会

事業費

約682万円 (H21)
総事業費 約4千万円
(H21～H23)

新規雇用者数

2名 (H21)
4名 (H22～)

事業実施

香我美地区 平成21年6月～
その他地区 平成22年度から



①【デイサービス機能】

高齢者や障害者、児童等の誰もが集い、介護予防教室の開催や創作活動の実施等、交流できる場を提供します。

②【サテライト機能】

香南市内の4箇所でそれぞれの地域ニーズに即したサービスの提供を行います。

③【移動支援機能】

移動手段が困難な利用者買い物の送迎を行うことにより、高齢者の自立と生活の質を高めます。

④【地域との交流機能】

高齢者と地域の子どもたちが自然環境の中で種まきから収穫まで畑仕事を通して、互いに親しみ、楽しむ交流の場をつくりまします。

利用者の声

- ・家にも、テレビを見て、座っているだけなので、ここへきていろいろな人と話ができることがうれしい。
- ・体操をしまして、肩が凝らなくなって、夜もぐっすり寝れる。
- ・創作(折紙・ちぎり絵)をこの歳になってするとは思わなかったが楽しい。レクリエーションのゲームも楽しい。
- ・ここで、お昼みんなと一緒にごはんを食べると美味しい。



スタッフの声



- ・ 1人暮らしの高齢者の方は、人と話すことを喜び、楽しんでくれます。また、介護予防にも繋がっていると思います。
- ・ 地域のボランティアさんが、こんなに積極的に入ってきてくれることに驚き、名前のおりあったかふれあいを感じています。
- ・ 利用者の男性は少なく、無口ですが、だんだんと慣れ、周りの人に気遣ったり、会話もするようになってきました。

あったかふれあいセンターの現状と課題

現在、このあったかふれあいセンターには、地域の高齢者・障害者・そして、地域のボランティアさんや、幼稚園の園児、民生委員さん等だれでもが集える場所として、一緒に農作物を育てたり、収穫したり、また筋力体操・レクレーション等で高齢者から子どもまで互いに楽しく交流し、そして介護予防にも繋がり、利用者には大変好評です。今は1地区で実施していますが、来年度はサテライト型で他の地区でも実施したいと思います。

これからも地域のたくさんの方に知ってもらい、地域住民やボランティアなどを巻き込んだ事業を進めていきたいと思っています。

今後は、地域住民の協力や地域のニーズへの対応などを踏まえた、事業の継続的な実施が課題と考えています。